

事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和 2 年10月 15日

事業所名

キッズハウスえくぼ つくば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		活動内容に合わせてパーテーション等で環境づくりをしている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	8			適切に配置されている。	今後も同様に行なっていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		・安全に過ごせるように工夫している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			・会議で必要な支援の内容や改善点など話し合っている。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげているか	8			・評価の結果を受け止め、しっかりと改善していると思う。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに載せている。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		実施している。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修機会を確保している	7	1		定期的に行い、職員に必要な情報を学ぶ機会がある。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者の意見も聞いて作成されている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		支援員で共用して使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		集団と個別でしっかりと取り組めるようにメリハリがつくよう考えている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		子どもたちの発達にプラスになるように工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか。	8			その都度決めて、支援している。 長期は普段できない活動を取り入れている。	

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			子どもの様子やご家族の意向等も合わせ、計画の作成している。	今後も同様に行なっていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・必要な情報の共有をし、支援の仕方や安全面等の確認をしている。 ・質問するタイミングが分からない。	・質問できるようなミーティング環境にしていく。 意見を言い合い、より良い支援ができるように努めていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		・翌日のミーティング時に行っている。 ・各自、その都度責任者に確認もする。	今後も同様に行なっていく。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2		記録し、職員間でもどういったことがあったか等共有して次につなげている。	今後も同様に行なっていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		担当者が必要に応じて行っている。	今後も同様に行なっていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			担当者が参加し、必要な情報は職員に伝えている。	今後も同様に行なっていく。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			・保護者から情報提供がある。 ・下校時に先生から学校での様子など引継ぎがされている。	今後も同様に行なっていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			・ご家族から聞く情報が多い。 ・事業所間での情報共有はある。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			必要があるときは情報提供をしている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		コロナ禍では難しい様子。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	7	平日の短い時間では難しい。 長期休暇時もなかなか話はない。	
	㉗	(地域自立支援)協議等へ積極的に参加しているか	8			責任者が参加している。	今後も同様に行なっていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			連絡帳や送迎時にその日の様子を伝えたり、必要な時にご家族からの相談事を聞いたりしている。	今後も同様に行なっていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8			相談事に対して保護者がかかりやすくなるように伝えている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に読み上げ説明し、確認をしてもらう。	今後も同様に行なっていく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			面談時や必要な時に適宜対応している。	いつでも対応できる事を周知していく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	3	今は開催されていない。	希望が多くなるようなら、必要に応じて考えていきたいと思う。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情があった場合は早急な対応をしている。	今後も同様に行なっていく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		不定期に通信を発行している。	定期的に発行できるように努めていく。
	③⑮	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			研修も実施し共通意識を持って支援にあたっている	今後も同様に行なっていく。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・絵カードを使ったり、その日の予定を書き分かりやすく活動できるように工夫している。 ・連絡帳や送迎時に保護者には伝えている。	今後も同様に行なっていく。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	6	地域の方に招待され、お祭り等に参加することはある。	招待するにはコロナ禍では難しい。環境整備も必要。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	8			・玄関に掲示している。	掲示してあることが周知できるように努めていく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			大きな訓練は不定期だが、本や紙芝居などで災害時はどうするか等考え練習している。	定期的に行なえるように考えていく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			社内外での研修に参加している。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		1	拘束はしていないが必要性を考え、説明・書式はある。	しっかりと保護者に説明し、同意を得ていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書の基づく対応がされているか	8			対応する場合はしっかりと保護者から話を聞いている。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・すぐ作成し、どうすればよいか等ふりくりを行っている。 ・定期的に回覧できるといい。	・ヒヤリハットを共有して事故につながらないように努めていく。 ・閲覧しやすいよう方法を考えていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。